

ディースクエア新さっぽろに

新札幌おおたに 眼科が開院

JR新札幌駅と直結予定の新開発エリア、メディカルビル「ディースクエア新さっぽろ」に、「新札幌おおたに眼科」(厚別中央1条6丁目2-1)ディースクエア新さっぽろ3階/大谷真一院長が開院した。

一般眼科診療のほか日帰り白内障手術、涙道手術、網膜硝子体手術など、さまざまな目のトラブルに対応



大谷真一院長

する。

同院は、手術年間2400眼以上の実績のある医療法人社団彩光会の札幌かとう眼科(北31東16-1-22)の分院で、大谷院長のほか、本院の加藤医師などグループ全体でチーム医療を担っていく。

白内障手術と網膜硝子体手術の際に使用するデジタル顕微鏡やシステム機器は、55インチ3Dモニターに映し出される高倍率、高解像度の立体映像と、リアルタイムの術中網膜断層像を見ながら手術を行うことができる最新機器で、道内の眼科では初導入。白内障手術では、切開部位や眼内レンズの挿入方向などを実際の手術画像の上に表示するこ



とができる白内障手術支援システムCALLIST

eyeを使用。安全で精度の高い手術が可能だという。

大谷院長は、旭川医科大学卒業後、市立稚内病院眼科、市立釧路総合病院眼科、市立根室病院など旭川医大眼科医局の関連病院に勤務、札幌かとう眼科、えにわ眼科勤務を経て、この度開院。開院にあたり大谷院長は「患者様ひとりひとりとし

っかり向き合い、親切、丁寧、真心込めた医療を志し早期の視力回復、社会復帰をサポートさせていたいただきます」と話す。

診療時間は、午前9時～昼12時、午後2時～5時、土曜午後・日曜・祝日休診。

問/新札幌おおたに眼科
011-801-7216